

令和5年度決算

下水道事業会計 事業レポート



松伏町まちづくり整備課

目次

○はじめに	1
1 決算って！	2
2 収入・支出に関する事項	2
(1) 収益的収支（消費税抜き）	2
(2) 資本的収支（消費税込み）	4
(3) 下水道使用料	5
(4) 一般会計繰入金	6
3 「減価償却費」と「長期前受金戻入」って？	7
4 「補てん財源」って？	9
5 下水道事業の経営成績は？	11
6 利益はどう使われているの？	12
7 借金はどれくらいあるの	13
8 下水道の普及に関する状況（公共下水道事業）	13
9 施設の状況	13
10 下水道事業の財産は？	14
11 キャッシュフロー計算書とは？	15
12 下水道事業経営指標（参考）	16

〇はじめに

松伏町の下水道事業は、使用者のみなさまが納めている下水道使用料で、安定したサービスを継続的に提供するため、令和2年度から公営企業会計を導入し運営しています。

地方公営企業の経理では、民間企業のように複式簿記を使った「企業会計方式」を採用することが義務付けられており、現金の増減のみを記帳する一般会計とは異なり、1つの取引によって発生した価値の増加に伴う他の価値の減少の両面を記帳する経理方式をとっています。

決算では、1年間の経営成績を表す「損益計算書」や年度末の財政状態を表す「貸借対照表」などの企業会計特有の書類があります。ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

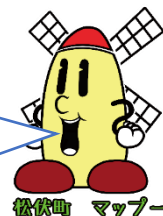
そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることをわかりやすくお伝えし、松伏町の下水道事業がどのような状況なのか少しでも知っていただけるよう本レポートを作成しました。

1 決算って？

○決算って？

決算とは、1年間に入ってきたお金（収入）と出て行ったお金（支出）を計算し、利益や損益をまとめた数字を「決算書」として確定させることです。

みなさんと一緒に令和5年度1年間に松伏町の下水道事業に使われたお金の出入りを見てみよう！



○令和5年度の決算はどうだったの？



さっそく令和5年度の松伏町下水道事業を見てみよう！

2 収入・支出に関する事項

(1) 収益的収支（消費税ぬき）

収益的収支・・・公営企業の一事業年度の経営活動に伴い発生したすべての収入とそれに対応するすべての支出

収益的収入（505百万円）



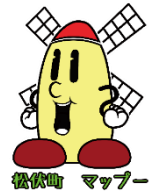
収益的支出（476百万円）



令和5年度の松伏町下水道事業の決算は、日々の経済活動に必要なお金(収益的収支)を見ると、約5億500万円の収入に対して約4億7,600万円の支出があったよ。



下水道事業は、みんなが支払っている「下水道使用料」で経営しているよ。



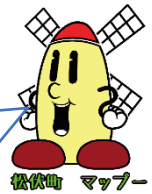
下水道使用料は約3割しかないよ。他にいろいろ収入があるね。「一般会計繰入金」や「長期前受金戻入」ってなんなの？

下水道は、みんなのお家から流れる「汚水」とまちを水害から守る「雨水」があるよ。

「汚水」にかかる費用は、使った人が払うけど、「雨水」の費用は、松伏町の「税金」で支払うのがルールなんだ。

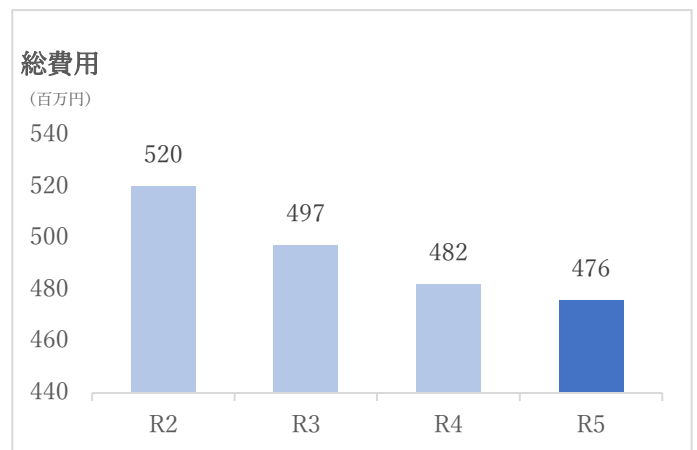
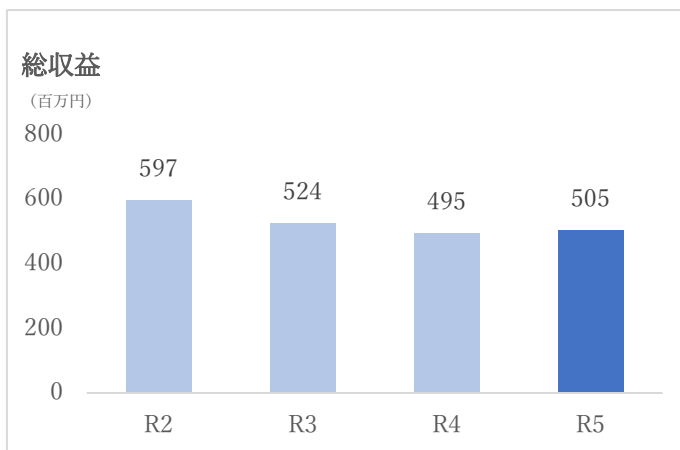
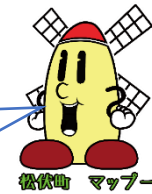
汚水の費用のうち「下水道使用料」で賄いきれない費用について、松伏町からの「税金」でもって助けてもらっているよ。この「税金」が「一般会計繰入金」なんだ。

「長期前受金戻入」は、このあと、説明するね。



「維持管理費」や「減価償却費」ってなに？

「維持管理費」はみんなの家から出た汚水をきれいにする処理場や雨水を排水するポンプ場の電気代や施設の修繕にかかった費用なんだ。「減価償却費」は、「長期前受金戻入」と合わせて説明するね。



本町の下水道事業は、収入不足を補うために、一般会計から繰入れを行っていることから費用に対し収益が上回る特性があります。令和5年度は、令和4年度と比較して下水道使用料収入、及び維持管理費ともに減少しました。支払い利息も減少しており、一般会計繰入金も減少しました。財政面での健全性は維持しています。

(2) 資本的収支（消費税込み）

資本的収支・・・公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良に係る企業債償還金などの支出、並びにその財源となる収入

資本的収入（154百万円）



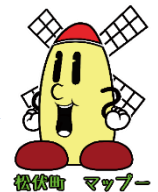
一方、施設を建設したり、借金を返済したりするお金(資本的収支)を見ると、約1億5,400万円の収入に対して、約3億100万円の支出があったよ。不足している1億8,300万円については、貯金を取り崩してやりくりしているよ。

資本的支出（301百万円）



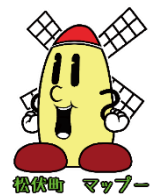
「建設改良費」ってなに？

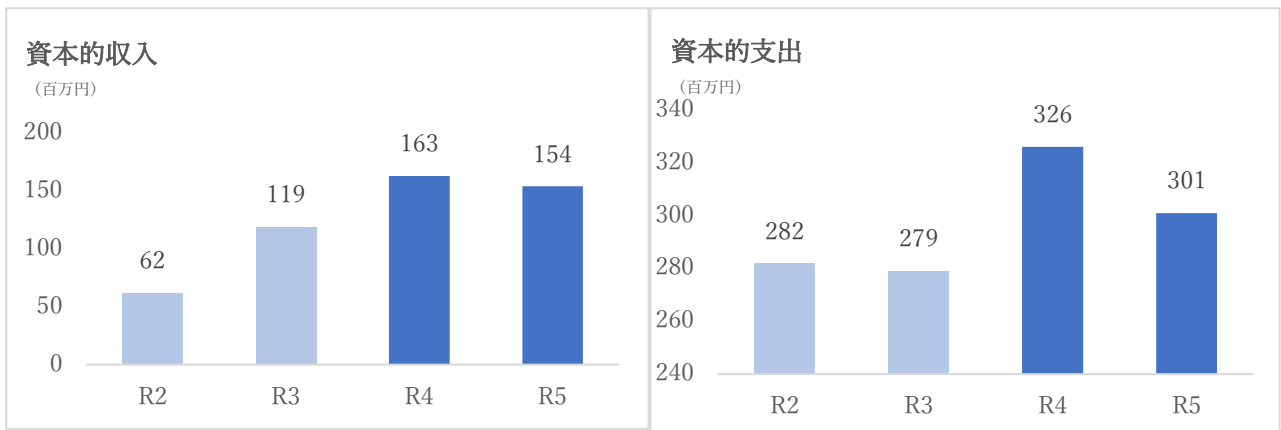
「建設改良費」は、下水道管やポンプ場などのハード面の建設にかかる費用なんだ。



「企業債償還」ってどういうものなの？

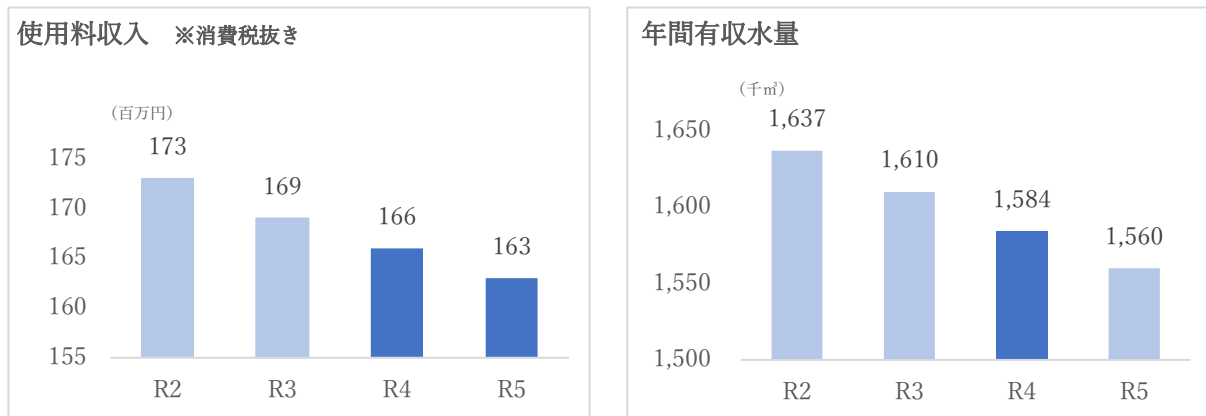
「企業債償還」は、下水道の施設を造るときに国の機関などから借入れしたお金なんだ。





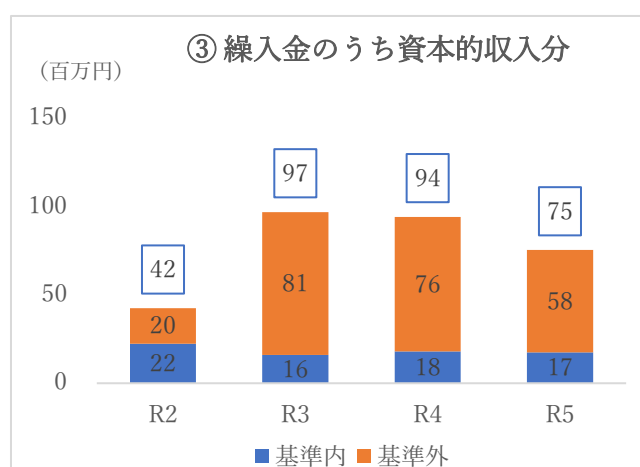
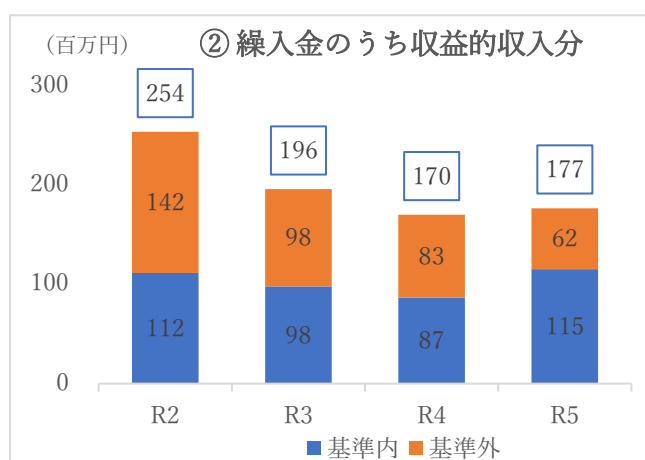
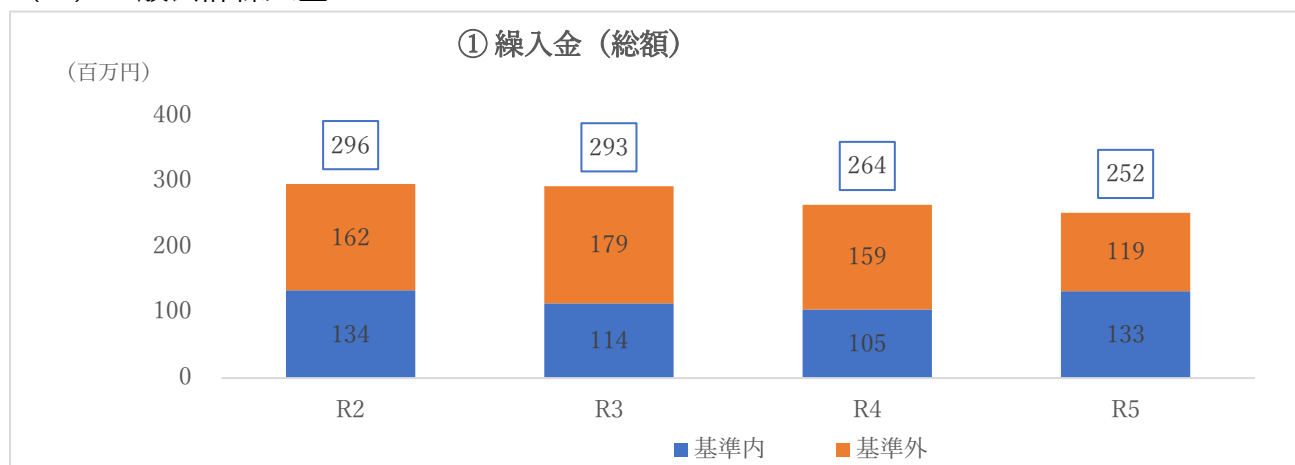
令和5年度は、令和4年度と比較して建設改良費が1,100万円減、企業債元金償還金が1,300万円減となりました。収入が支出に対して不足する部分は、内部留保資金等で補てんしており、資金不足は、生じていません。

(3) 下水道使用料



使用料収入は、約300万円の減収となりました。使用料の対象となる有収水量も約2万4千m³減となりました。これは、処理区域内人口や水洗化人口が減少傾向にあることや、節水機器の普及などにより減少したものと思われます。

(4) 一般会計繰入金



繰入金は、令和4年度と比較して総額で約1,200万円の減となりました。内訳としては、収益的収入分では、約700万円の増、資本的収入分では、1,900万円の減となりました。繰入金の減少は企業債元利償還金の減に起因するところがあります。今後も経営合理化の取組を進め、繰入金の減少に努めます。

基準内繰入金とは

毎年度、総務省から示される繰出基準に基づき、一般会計が負担・補助等する必要な経費として、財政措置（交付税措置）が認められる繰入金です。公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない、あるいは客観的に充てることが困難な経費に充当します。主に、雨水処理に要する経費、流域下水道の建設に要する経費、分流式下水道等に要する経費、高度処理に要する経費などです。

基準外繰入金とは

公営企業会計の財源不足を補填するための繰出基準以外の繰入金をいいます。

基準上、必要以上の繰入金とみなされ、財源措置がないため、運用に当たってはより慎重であることが必要です。

3 「減価償却費」と「長期前受金戻入」って？

○「減価償却費」ってなあに？

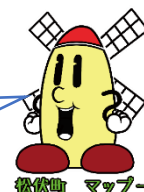


減価償却費とは、時間がたつことにより建物や設備などの資産価値が減少した分の費用を計上するものだよ。

わかりやすくいうと、新車を100万円買って、5年後に売るときには、買った値段よりも価値が落ちた分を差し引いた値段になるよね。

こういった資産の現在の価値を正確に把握するためにも、価値が減少した分を費用として計上する必要があるよ。この手続きを「減価償却」と呼び、その手続きによって計上される費用を「減価償却費」というんだよ。

例えば、100万円で購入した車が1年後の価値が90万円になった場合、その1年間の減価償却費は価値が減少した10万円になるってことだね。

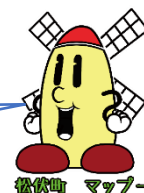


○「長期前受金戻入」ってなあに？



長期前受金戻入とは、固定資産の取得に伴う財源として受けた国庫補助金や一般会計からの負担金等について、「長期前受金」として負債に計上したうえで、毎年度、減価償却見合い分を収益化する現金を伴わない収入だよ。

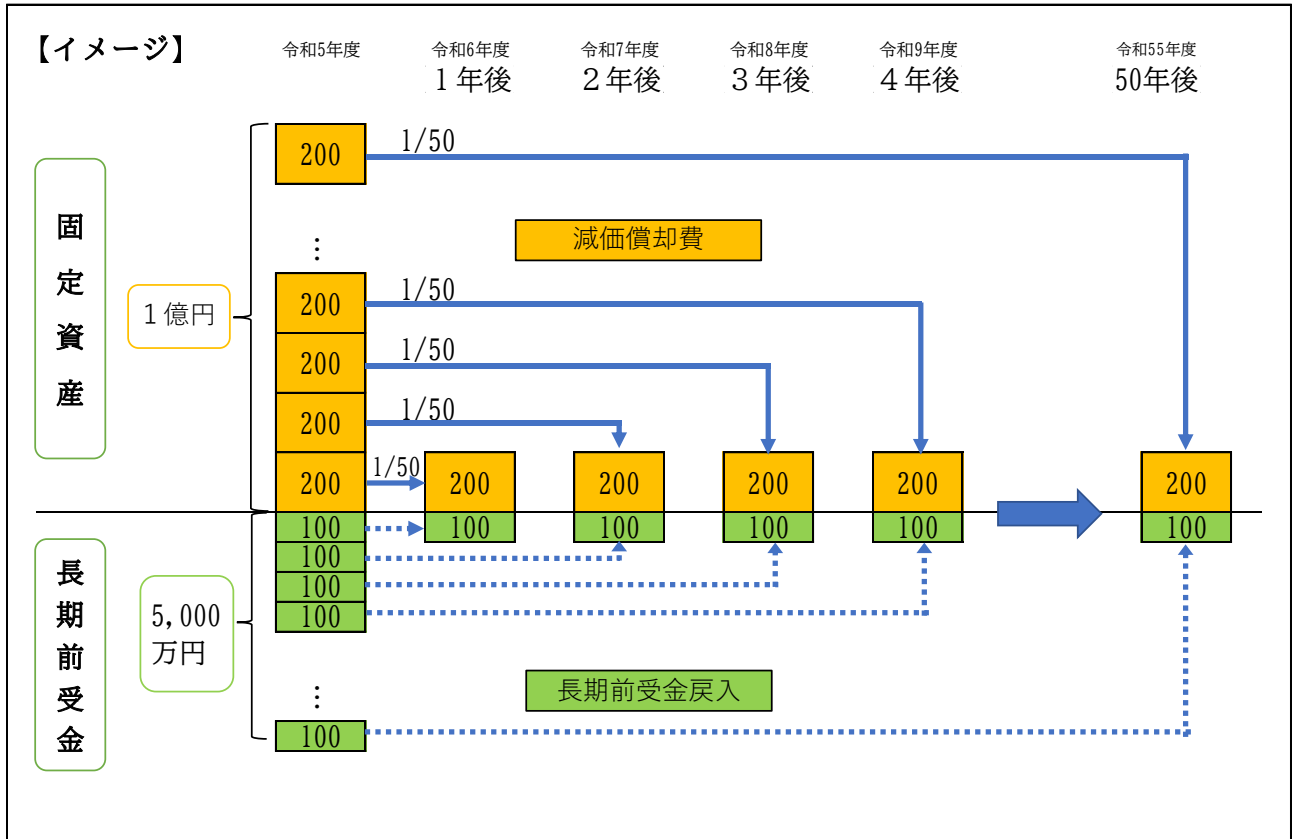
なんか、言葉で聞いてもよくわからないなあ。



そうだね。
それでは、具体的な例をあげるから、イメージしてみてね。

「減価償却費」と「長期前受金戻入」のイメージ！

令和5年度に国庫補助金5,000万円、自己資金5,000万円を財源に50年間使用できる施設（1億円）を建設した時の「減価償却費」及び「長期前受金戻入」のイメージ



この施設は50年間使えるから、毎年50分の1ずつこの施設の価値が減少していくから、その価値の減少分である減価償却費が毎年200万円発生し費用計上することになるよね。

一方、この施設の取得には国庫補助金5,000万円もらっているから、この国庫補助金も施設の減価償却費に対応して、毎年50分の1の100万円ずつ収益が発生し収益化することになるんだ。

この経費処理に伴って発生する収益を「長期前受金戻入」というんだよ。



4 「補てん財源」って？



その前に、企業会計予算の編成は、前にも説明したように「収益的収支」と「資本的収支」の2本立てとなっているよ。

収益的収支（現在のために使うお金）

公営企業の一事業年度の経済活動に発生した全ての収入とそれに対応する全ての支出

公営企業のみなさんが使った汚水を下水道処理施設で処理するのは、今、生活している人々のためにすることです。そう考えると、維持管理費や1年間施設を使った事による資産価値の減少分である減価償却費、それから下水道処理の対価である使用料収入などは現在のために使うお金＝収益的収支というイメージです。

資本的収支（将来のために使うお金）

公営企業の将来の経済活動に備えて行う建設改良費及び建設改良に係る企業債償還金などの支出、並びにその財源となる収入

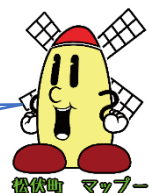
この将来のために使うお金とは、例えば下水道管の布設や処理場施設の建設のことです。一度整備された施設は、その後何十年と使用されることから、これらの整備費用やその財源となるために借りた企業債収入やその償還金、国からの補助金が将来のために使うお金＝資本的収支というイメージです。

○「補てん財源」ってなあに？



補填財源とは、資本的収支予算において、収入額が支出額に対して不足することになった場合、その不足分を補う財源のことだよ。

予算でお金が足りないってどういうこと？





公営企業の予算制度は、収益的収支と資本的収支の2本立てということは、先ほど説明したね。そのうち、資本的収支予算は、建設改良費や企業債の償還が主な支出であり、支出が収入を上回ることがよくあるよ。

しかし、実際に予算を執行するときに資金が不足しないように予算を策定する段階にその不足額について、資金的裏付けがあることを説明する必要があるんだ。

この財源は、収益的収支予算のうち、現金の支出を伴っていない減価償却費や固定資産償却費などの支出によって内部に残る資金（内部留保資金）や純利益を原資としている減債積立金や建設改良積立金など、資本的支出に充当するための積立金などが補てん財源になるよ。

5 下水道事業の経営成績は？

企業が1年間にどれだけ利益を上げたか明らかにするものとして「損益計算書」があります。これを令和5年度の下水道事業会計決算に当てはめると、松伏町下水道事業会計における令和5年度の経営成績を表すものになります

(1) 損益計算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

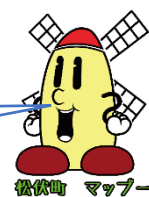
(消費税抜き)

科 目	令和5年度	令和4年度(参考)
① 営業収益	1億9,628万円	1億8,119万円
下水道使用料	1億6,297万円	1億6,580万円
一般会計負担金(雨水処理負担金:基準内)	3,305万円	1,500万円
その他営業収益	25万円	39万円
② 営業費用	4億4,395万円	4億4,670万円
維持管理費	1億3,056万円	1億3,380万円
減価償却費及び資産減耗費	3億1,338万円	3億1,290万円
③ 営業損益(+の場合は営業利益) ①-②	△2億4,767万円	△2億6,551万円
④ 営業外収益	3億869万円	3億1,377万円
一般会計負担金(雨水処理負担金以外:基準内)	8,212万円	9,658万円
一般会計補助金(基準外)	6,148万円	5,845万円
長期前受金戻入	1億5,978万円	1億5,868万円
その他営業外収益	531万円	6万円
⑤ 営業外費用	3,180万円	3,523万円
支払利息	2,903万円	3,509万円
雑支出	277万円	14万円
⑥ 経常利益(-の場合は経常損失) ③+④-⑤	2,922万円	1,303万円
⑦ 特別利益	0	0
⑧ 特別損失	0	0
⑨ 当年度純利益 ⑥+⑦-⑧	2,922万円	1,303万円



令和5年度の下水道事業は2,922万円の黒字だったんだ。

この2,922万円の黒字がどのように使われているか見てみよう。

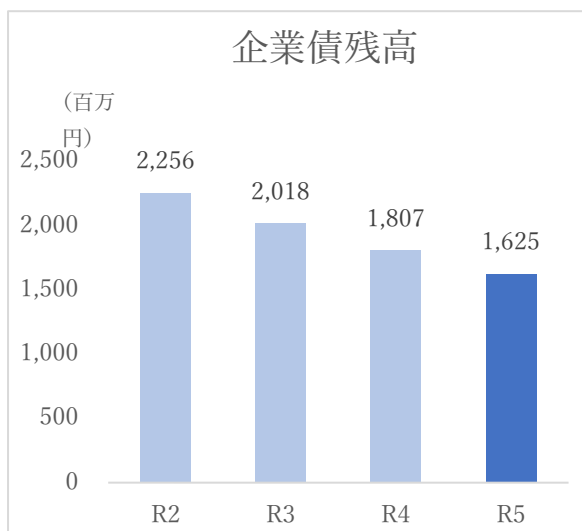


松伏町 マッパー

7 借金はどれくらいあるの？



ここでは、「企業債の残高＝ローンの残高」、つまり、借金がいくら残っているか見てみよう！

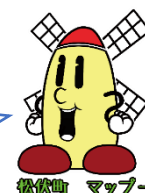


近年は、借入額が償還額の範囲内に収まっており、企業債残高は着実に減少しています。

令和4年度末 残高 18億 650万円①
 令和5年度末 借入 5,610万円
 令和5年度末 償還額 2億3,770万円
 令和5年度末 残高 16億2,490万円②

$$\text{②} - \text{①} = \Delta 1\text{億}8,160\text{万円}$$

借金の残高は、年々減少しているね。4年前の令和2年度末と比べて約6億3,000万円も減少しているよ。



松伏町 マップ

8 下水道の普及に関する状況（公共下水道事業）

		令和5年度	令和4年度	増減
行政区域内人口	A	28,068 人	28,285 人	△ 217 人
処理区域内人口	B	19,566 人	19,686 人	△ 120 人
水洗化人口	C	16,500 人	16,793 人	△ 293 人
普及率	(B/A)	69.7 %	69.6 %	0.1 ㊦
水洗化率	(C/B)	84.3 %	85.3 %	△ 1.0 ㊦

9 施設の状況

公共下水道事業	汚水中継ポンプ場	2 箇所
	マンホールポンプ	3 箇所
	雨水排水ポンプ	1 箇所

10 下水道事業の財産は？

事業年度末における当該企業が保有する財産（資産、負債及び資本）の状況を表す財務諸表として「貸借対照表」があります。貸借対照表は、「何にお金を投資したか(資産)」、「どうやってお金を集めたのか(負債)(資本)」を表しています。

(2) 貸借対照表 (令和6年3月31日まで)

科目	令和5年度	(参考) 令和4年度	科目	令和5年度	(参考) 令和4年度
(資産の部)			(負債の部)		
固定資産 (①)	74億689万円	76億6,303万円	固定負債 (③)	14億384万円	15億6,882万円
有形固定資産	68億9,685万円	71億4,074万円	企業債	14億384万円	15億6,882万円
土地	2,099万円	2,098万円	流動負債 (④)	3億1,336万円	3億1,936万円
建物	1億1,625万円	1億2,149万円	企業債	2億2,107万円	2億3,773万円
構築物	66億853万円	68億7,913万円	未払金	8,880万円	7,311万円
機械及び装置	1億3,217万円	1億22万円	引当金	307万円	276万円
車両運搬機	5万円	5万円	その他流動負債	43万円	576万円
工具器具及び備品	2万円	2万円	繰延収益 (⑤)	36億3,048万円	37億3,372万円
建設仮勘定	1,885万円	1,885万円	長期前受金	42億6,754万円	42億1,100万円
無形固定資産	5億1,005万円	5億2,229万円	収益化累計額	△6億3,706万円	△4億7,728万円
施設利用権	5億1,005万円	5億2,229万円	負債合計 (③+④+⑤)	53億4,768万円	56億2,190万円
流動資産 (②)	1億7,904万円	1億2,991万円	(資本の部)		
現金預金	1億4,847万円	9,149万円	資本金 (⑥)	21億7,762万円	21億331万円
未収金	3,070万円	3,856万円	剰余金 (⑦)	6,064万円	6,773万円
貸倒引当金	△13万円	△14万円	資本剰余金	1,319万円	1,319万円
			利益剰余金	4,745万円	5,454万円
			資本金合計 (⑥+⑦)	22億3,825万円	21億7,104万円
資産合計 (①+②)	75億8,594万円	77億9,294万円	負債資本合計 (③+④+⑤+⑥+⑦)	75億8,594万円	77億9,294万円

「お金の使い道」

集めたお金が、「どのような状態」で
「どれだけ」あるかがわかります。

「お金の集め方」

企業が資産を獲得するためのお金を
「どうやって」集めたかがわかります。



貸借対照表は、「資産」「負債」「資本」の3つの内容を示しているよ。「資産-負債=資本」という関係性から
「資産=負債+資本」という表が作られるよ。

1 1 キャッシュフロー計算書とは？

キャッシュフロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

キャッシュ・フロー計算書

科 目	令和5年度	(参考)	
		令和4年度	
① 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純資金	2,922万円	1,303万円	<div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> 下水道事業 本来の営業活 動で資金を稼 げているか？ を表していま す。 </div>
減価償却費	3億1,338万円	3億1,168万円	
資産減耗費	0	123万	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1万円	△4万円	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26万円	22万円	
法定福利費引当金の増加額	4万円	5万円	
長期前受金戻入額	△1億5,978万円	△1億5,868万円	
未収金の増減額 (△は増加)	786万円	△588万円	
未払金の増減額 (△は減少)	1,568万円	4,036万円	
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△533万円	1万円	
小計	2億132万円	2億198万円	
② 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△4,581万円	△5,654万円	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> 下水道施設 の更新等、設 備投資にどれ だけ資金を使 ったか？ を表していま す。 </div>
無形固定資産の取得による支出	△1,143万円	△1,124万円	
国庫補助金による収入	1,745万円	2,500万円	
受益者負担金等による収入	251万円	143万円	
一般会計等からの繰入金による収入	3,657万円	1,717万円	
小計	△70万円	△2,418万円	
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の企業債による収入	5,610万円	3,960万円	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> 借入と返済の どちらを多くし たか？ を表していま す。 </div>
建設改良費等の企業債の償還による支出	△2億3,773万円	△2億5,115万円	
一般会計出資金による収入	3,800万円	7,616万円	
小計	△1億4,363万円	△1億3,539万円	
資金増減額 ①+②+③	5,699万円	4,241万円	
資金期首残高	9,149万円	4,908万円	
資金期末残高 (資金増減額+資金期首残高)	1億4,847万円	9,149万円	

1 2 下水道事業経営指標（参考）

財政状態を分析するため、いくつかの指標を使って経営の健全性や安全性などを見ました。

項目	松伏町		説明
	R 5 年度	R 4 年度	
経常収支比率:%	106.1	102.7	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標で高いほどよい。
累積欠損金比率:%	0.0	0.0	営業活動で生じた損失で、補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金の状況を表す指標です。0%であることが求められます。
流動比率:%	57.14	40.68	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。
企業債残高対事業規模比率:%	558.85	614.4	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。
経費回収率:%	69.63	69.78	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標です。
汚水処理原価:円	150	150	有収水量 1 m ³ あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。
施設利用率:%	-	-	施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。
水洗化率:%	85.3	84.3	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。
有形固定資産減価償却率:%	12.2	16.8	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。
管渠老朽化率:%	0	0	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標です。
管渠改善率:%	0	0	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標です。